

令和元年度（2019年度）第2回（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた準備委員会
意見交換概要

開催日時	令和元年（2019年）12月2日（火）19：00～20：00		
開催場所	第十中学校 1階多目的室	傍聴者数	2人
出席者	委員	<p>【庄内小学校】北島委員、林委員、東阪委員、富田委員、井本委員</p> <p>【野田小学校】溪口校長、谷口委員、児島委員、藤野委員 岡村PTA副会長（瀧川委員代理）</p> <p>【島田小学校】瀧田委員、森委員</p> <p>【第六中学校】亀谷委員、川田委員、吉田委員</p> <p>【第十中学校】中北委員、伊原委員</p>	
	事務局 その他	<p>【教育委員会事務局】 小野事務局長、福山次長、田中教育監、寺田次長、井角参事 眞田学校教育課長、野田主幹（計画担当）、上松主査 高橋主事、松井調整係長（学校施設管理課）</p> <p>【都市経営部】橋本主幹（南部地域活性化担当）、上野主事</p>	
次第	<p>1. 意見交換</p> <p>（1）（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた検討状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校章 ・標準服 ・義務教育学校の教育内容 <p>（2）南部地域活性化基本計画（素案）について</p> <p>2. その他</p>		
配布資料	<p>○庄内地域における「魅力ある学校」づくり通信 第13号</p> <p>○（仮称）庄内さくら学園及び（仮称）南校リーフレット（案） （「庄内地域に豊中市初の義務教育学校が開校します」）</p> <p>○南部地域活性化基本計画（素案）への意見募集概要 （南部地域活性化基本計画（素案）へのご意見を募集します）</p>		

1. 意見交換

(1) (仮称) 庄内さくら学園の開校に向けた検討状況について

○校章

事務局

- ・前回会議の際に「子どもたちからデザインを募った方が良いのではないか」というご意見があり、事務局内で校章の作成方法について、再度検討し、夏休み期間を活用して子どもたちからデザインのアイデア募集を行った。
- ・5校から154件の応募があり、それらを参考にデザイン化をし、教育委員会内で組織した教育長を委員長とする校章選定委員会において、最終候補として6案を選定した。その6案について、5校の児童生徒と教職員を対象にアンケートを行い、その結果を踏まえて選定委員会において校章を決定した。
- ・この校章は、来年度の庄内さくら学園中学校から使用し、庄内さくら学園へと引き継いでいくこととしている。

○標準服

副委員長（標準服検討委員会座長）

- ・最終的に決定したものは展示しているものとおりが、決定に至るまでの経過についてご報告させていただく。
- ・3パターンのサンプルを作成し、子どもたちを対象に行ったアンケートの結果から、9月の標準服検討委員会において採用デザインを決定した。また、夏の標準服については、ハーフパンツの導入を検討したが、まだ最終決定には至っていない。(仮称) 庄内さくら学園の開校までに継続して検討を行う。
- ・10月・11月の標準服検討委員会では、成長対応機能や気崩し防止機能、附属品のデザイン、女子用スラックスなどについて検討を行った。エンブレムやボタンには校章を用い、ブレザーの袖は6cm、スラックスの丈は10cm出せる仕様となっている。スカートの裾には桜の刺繍を入れ、ウエストにはアジャスターをつけることとしている。細部にわたって議論を行い、最終決定に至っているということをご承知いただきたい。
- ・通信13号に標準服を着用する学年について記載しているが、これは最終決定しているわけではない。現時点における標準服検討委員会の方針ではあるが、ハーフパンツの導入も含め、まだ議論の余地があると考えている。

委員長

- ・校章と標準服に関するただいまの説明に対して、ご意見・ご質問等があればいただきたい。

委員

- ・標準服のデザインはとても良いと思う。導入時期については、まだ今後検討するということであったが、以前の保護者アンケートでは5年生からの導入を希望する意見は少なかったと思う。7年生からに次いで、1年生からの導入を希望する意見が多かったのではないかと。4-3-2制において、

5・6年生と7年生の服装が違うのも疑問である。

副委員長

- ・保護者アンケートでは、7年生からの導入を希望する意見が1番多く、次に1年生からの導入を希望する意見が多かった。私見ではあるが、保護者アンケートの時点では、6-3制ではなく4-3-2制になるということの浸透が足りなかったがゆえに、そのような結果となったのではないかと。4-3-2制の中で実際にはどう思われるかということは注視したい。
- ・7年生からブレザーを着用するという点については、(仮称)庄内さくら学園以外の市内の学校は6-3制なので、例えば、クラブ活動の大会に参加する場面を考えると、中学1年生・7年生の時点で標準服の方が大きな齟齬が生まれずによいのではないかと思う。

委員

- ・1年生から着用する方がよいのではないかと。

○義務教育学校の教育内容

事務局 ((仮称)庄内さくら学園及び(仮称)南校リーフレット(案)についての説明)

委員長

- ・ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問等があればいただきたい。

委員

- ・「食育の推進」とあるが、中学生段階の7年生以降はデリバリー方式ということか。

事務局

- ・(仮称)庄内さくら学園では、選択制ではなく全員喫食のデリバリー方式の給食となる。

(2) 南部地域活性化基本計画(素案)について

創造改革課(南部地域活性化基本計画(素案)について説明)

委員長

- ・ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問等があればいただきたい。

委員

- ・説明していただいたパワーポイントの資料をいただくことはできないか。

創造改革課

- ・資料の配付については検討させていただく。

委員

- ・何世帯、何人ぐらいがこの地域に住むイメージなのか。学校跡地に広場ができたとして、そこに集まる人たちはどこに住んでいる人たちなのか。増えていただきたい世代の人口増を叶えないといけないのではないかと感じた。

創造改革課

- ・現在、南部地域の人口は約5万8千人で、このままでは20年後に1万人減少するという推計が出ている。今回の計画では、現在の人口をキープするということと、高齢化率が南部地域は約33%であるのを豊中市全体の平均と同等にしたいと考えている。若い人に住んでいただくためには、住宅の整備も必要だと思うが、学校跡地は活性化のための1つの拠点と考えているので、そこに人が集まることで民間の空き家や空き地の住宅整備が進むことを期待したい。

委員

- ・立派な広場も夢ではないと期待したい。

2. その他

委員長

- ・次回以降の予定や連絡など事務局から説明いただきたい。

事務局

- ・次回開催は未定であるが、取り組みの進捗状況等に応じて開催したいと考えている。日程が決まり次第、改めてご連絡させていただく。

(以上)